



2.40 PDA 埼玉県立浦和第一女子高校即興型英語ディベート 体験会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2019年11月11日(金) 15:50-18:20

会場：埼玉県立浦和第一女子高等学校

参加者：生徒27名、教員5名

ジャッジ：PDAスタッフ、一橋大学、名古屋工業大学

助成：公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI 財団

化学階段教室にて体験会がスタートしました。今年は昨年からのリピーター率も高めで、1年生から3年生の生徒(3年生の中には今回の参加で3年目の生徒さんもいらっしゃいました)への説明でルール等も分かっている方もいましたが、1年生はほとんどが初挑戦なため、ルール説明、POI (point of information: ディベート中に質疑応答をリクエストするルール)の練習、モデルディベートの視聴を完結に行いました。

第一ラウンドの論題 *Single sex schools are better than co-educational schools. (共学より、男子校または女子校の方がよい。)*が発表されます。スピーチシートも未完成のまま、話さざるを得ない環境の中で、「異性を気にせず自由な発言ができ活発化する」や「我が校卒業生の結婚率の低さ」など例を挙げて自校の女子高であることのメリットデメリットを一生懸命論じていました。

続く第2ラウンドでは第1ラウンドで受けた各テーブルジャッジからのアドバイスを参考にし、全てのテーブルで1ラウンド目より伸びを実感したようでした。

本日で首都圏公立高等学校即興型英語ディベート交流大会体験会日程は全て終了しました。体験会で得たスキルをもとに17日の日比谷高校での交流大会でお会いしましょう。



モデルディベートを見ながら流れを掴みます



POI(質疑応答)に応えます

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・1回目は否定で参加し、聞き取れないこともあったが、2回目にジャッジで参加したのは聞き取れて、短時間での成長を感じられました。
- ・よく英検対策として for/against composition を書いていたので役立ったし、すぐ考えが浮かんできた。もっと“即興的”であるようにしたい。文をガチガチにつくって発表しすぎた。
- ・実際に英語ディベートを行ってみて、英語が出てこないもどかしさを感じました。今回の気持ちを忘れずに、英語を話すことを恐れずに、自分から英語を話してゆきたいです。
- ・今回のディベート授業を通して英語で話すことが楽しいと感じられました。英語の能力はまだまだですが、力になると実感できたので、今後も行いたいと思いました。
- ・言わなければいけない状況にあったので、とりあえずあってるかどうかわからなくても言うことが大切だと思った。1年生のときよりは沈黙がへったので良かった。
- ・とても楽しかったです。1年に1回ではなくてもっとやって欲しいです。
- ・来年もやりたくなりました。もっと上手になって帰ってきます！

